

**スクールカウンセラーからのお便り**

1年の締めくくりの時期になりました。22日は2学期の終業式。その後、クリスマス、年末年始…と、子どもたちにとっては、楽しみのできごとが待っています。一方、保護者は何かと気ぜわしく、子どもたちに対しても複雑な思いが湧きやすい時期かもしれませんね。

もし、2学期の通知表を見て「どうして、うちの子は読解力が弱いのか」「なんで、文章題が苦手なんだろう」と嘆くことがあれば、以下を参考にしてみてください。

**【読解力とは】**

- ・読解とは、テキストに書かれていないことを自分で補い、行間を埋めて推論し、「解釈」していくこと。
- ・文章の解釈をしていくプロセスは、
  - ①文章中の情報から必要なものと不必要なものをより分ける(実行機能)。
  - ②文章中の必要な情報を記憶に保持する(作業記憶)。
  - ③自分の持っている知識(※単語を含む)と混ぜて、文脈の行間を埋めつつ、内容をイメージする。(※単語は、複数の意味を持っているので、文脈の中でどの意味がふさわしいか選択する必要がある)
  - ④文章に書かれている状況がイメージ(推論)できると、意味理解ができるようになる。
- ・言語学習の読解は、スキーマ(※schema)を活性化させることで、読解が促進されると言われている。(※スキーマとは、経験の積み重ねによって獲得する知識の集合で、長期記憶に貯蔵される一般知識)

**【読解力は、乳幼児期からの積み重ねが大切】**

情緒・想像力・表現力(感じる・イメージする・表す力)

論理的思考力・表現力(考える・表す力)

国語など学習に必要な語彙(ごい)力・表現力

乳幼児期 → 児童期 → 思春期 → 青年期

**【文章題を解くために必要な3つの力】****1. 読解力**

語彙(ごい)力が足りないと、文章の構造(主語・述語の関係)が理解できない。問題の意味がわからない。

**《語彙力・読解力を伸ばすには》**

- ・親子でたくさん会話する。絵本など読み聞かせや、教科書などの音読をする。

**2. 文章からイメージする力**

なんとか文字は読めても、頭の中で文章のイメージができないと、長い文章題では混乱する。問題の内容が正しく理解できない。

**《イメージする力を伸ばすには》**

- ・「こうしたらどうなるかな?」の体験をたくさんする。読んだら、文章を絵や図にして描いてみる。
- ・子どもが想像すること、自分の考えていることを口に出して、大人に聞いてもらえる環境をつくる。

**3. 数式で表す力**

算数で計算問題(たし算、ひき算、かけ算、わり算)はできていて、文章の意味もわかっているようでも、数式へ変換できない場合は、「数式の本当の意味」がわかっていないのかもしれない。

(ただ計算を解くことだけに注目している子は、複雑な問題になると対応できにくい。)

**《数式で表す力をつけるには》**

- ・日常生活(工作、料理など)で算数の感覚を身につける。
- ・算数(計算など)が必要なおもちゃ(ボードゲーム・カードゲームなど)で遊ぶ。



いかがでしたか? 保護者のみなさまには、お子さんとたくさん会話を楽しむようにしましょう。会話は、聞く力も伸ばすことができます。そして、年末年始、お健やかにお過ごしくださいませ。 [文:S.C. 五百蔵 佳世子]